

ポリエチレン、塩化ビニール、その他プラスチック類などの 農業用の廃プラスチックを回収します

回収日時および回収場所

回収日時	回収場所
12月4日(水) 午前9時～午後3時	JA東部園芸センター JA南部園芸センター
12月7日(土) 午前9時～午後3時	JA一関営農経済センター JA花泉営農経済センター JA平泉ライスセンター

回収の種類および概算料金

種類		概算料金
ポリエチレン	ポリエチレンフィルム、マルチフィルム、牧草用ラップシート、肥料袋、育苗箱	65円/kg
塩化ビニール	ハウス用ビニール	115円/kg
その他プラスチック類	ブルーシート他	140円/kg

※処理料金は概算単価のため、変更になる場合があります。

【搬入例】(ポリエチレン、肥料袋)



※注意点

- ・分類ごとに荷造りしてください。
- ・塩ビとポリエチレンは絶対に混ぜないでください。
- ・肥料袋にマルチなどを詰めないでください。



詳しくは、11月配布のチラシをご覧ください。

お問い合わせ

一関地方農林業振興協議会 園芸特産部会

一関市農政課 ☎21-8427、平泉町農林振興課 ☎46-5564、JA営農振興課 ☎34-4001

生産資材
ひろば

子牛の防寒対策

これから寒さが厳しい季節を迎えます。子牛の適温は13～25℃であり、冬は熱を作り出すエネルギーが大きくなるため、発育に必要なエネルギーが不足してしまいます。防寒対策をしっかりと行い、寒冷ストレスによる発育のロスを減らしましょう。

◎子牛が寒さに弱い原因

- ・親牛に比べて体脂肪が少なく被毛も薄い
- ・体重が小さい割に体表面積が広いと熱発散が多い
- ・第1胃（発酵槽）が未発達のため体内から熱発生が少ない

◎対策

- ①防寒ベストやネックウォーマーなどで、保温に努めましょう。
- ②暖房器具（遠赤ヒーターやハロゲンランプなど）で子牛を温めましょう。
- ③敷料交換の回数を増やして乾燥を保ち、敷料の量も増やして保温効果を高めましょう。
- ④すきま風を防ぎましょう。
- ⑤飲み水を温水にしましょう。
- ⑥子牛に十分な栄養を与えましょう。
- ⑦保温と同時に換気も両立させることがポイント。牛舎を閉め切ったままにしていると湿気やアンモニア臭がこもり、ほこりや細菌が増加します。アンモニア臭は子牛の呼吸器にダメージを与え細菌等に感染しやすくなります。そのため、子牛になるべく直接風が当たらないようにしながら、日中の暖かい時間に換気を行いましょう。こまめに糞尿処理を行いアンモニア臭の発生を抑えることも大切です。